

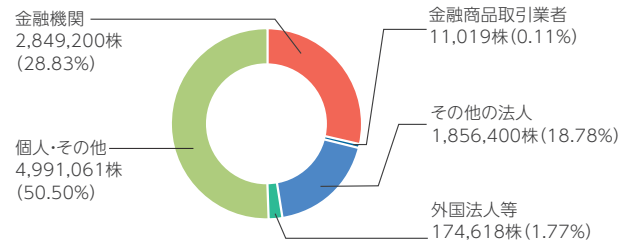
会社情報 (2019年9月30日現在)

| 会社概要 |                                         |
|------|-----------------------------------------|
| 会社名  | 綿半ホールディングス株式会社                          |
| 本 店  | 長野県飯田市北方1023-1                          |
| 本 社  | 東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル<br>03-3341-2766 (代表) |
| 設 立  | 1949年2月18日 (創業1598年)                    |
| 資本金  | 9億7,639万6千円                             |
| 従業員数 | 連結4,379名 (臨時雇用者3,151名含む)                |

株式情報 (2019年9月30日現在)

| 株式状況     |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 9,882,397株  |
| 株主数      | 8,999名      |

所有者別株式分布状況



| 大株主の状況                     | 所有株式数 (株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|-----------|----------|
| 綿半グループ従業員持株会               | 940,500   | 9.51     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)   | 708,600   | 7.17     |
| 野原 莞爾                      | 422,769   | 4.27     |
| 株式会社八十二銀行                  | 400,000   | 4.04     |
| 元旦ビューティ工業株式会社              | 300,000   | 3.03     |
| 野原ホールディングス株式会社             | 291,300   | 2.94     |
| 野原 勇                       | 276,790   | 2.80     |
| 野村信託銀行株式会社 (投信口)           | 273,600   | 2.76     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 264,200   | 2.67     |
| 株式会社ヤマウラ                   | 250,000   | 2.52     |

※持株比率は自己株式 (99株) を控除して計算しております。

綿半ホールディングス株式会社

東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル  
TEL:03-3341-2766 (代表)  
<http://www.watahan.co.jp/>



| 役 員     |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 代表取締役会長 | 野原 莞爾 | 社外取締役 | 熊谷 祐紀 |
| 代表取締役社長 | 野原 勇  | 社外取締役 | 萩本 範文 |
| 専務取締役   | 有賀 博  | 常勤監査役 | 横山 隆  |
| 常務取締役   | 小林 亮夫 | 社外監査役 | 熊崎 勝彦 |
| 取締役     | 御堂島 司 | 社外監査役 | 坂本 順子 |
| 取締役     | 間瀬 敏彦 |       |       |

株主メモ

|                     |                                                                                                                    |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                    |
| 基準日                 | 毎年3月31日                                                                                                            |
| 配当金受領<br>株主確定日      | 期末配当金 毎年3月31日                                                                                                      |
| 定時株主総会              | 毎年6月                                                                                                               |
| 公告掲載方法              | 電子公告により行います。<br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって<br>電子公告による公告をすることができない場合は、<br>日本経済新聞に掲載して行います。                               |
| 公告掲載URL             | <a href="http://www.watahan.co.jp/ir/notice.html">http://www.watahan.co.jp/ir/notice.html</a>                      |
| 単元株式数               | 100株                                                                                                               |
| 株主名簿管理人<br>特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                      |
| 同事務取扱場所             | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                                                           |
| 連絡先・<br>郵便物送付先      | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)<br>〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |

表紙写真

綿半野原グループの慰霊塔がある飯田霊地公園から望む  
南アルプスの風景です。



# Watahan Report

綿半レポート

## 2020年3月期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

力を合わせ、分かち合い、響き合う。  
「合才の精神」  
綿半グループ



綿半ブランドのグループ統一化による  
企業理念とブランディングストーリー

力を合わせ、分かち合い、響き合う。  
「合才の精神」

「合」の旗印を掲げた  
信長の武將の一人が居た  
民家臣と共に力を合わせ  
地域を守り、地域の発展に邁進していた  
本能寺の変の後  
民家臣の生活と平安のため  
刀を捨てて、綿を扱う商いを始めた  
四百数十年前、  
武士の志で作った企業、「綿半」が始まった  
明治の世の大変動にも「綿半」は即座に対応し  
綿から鉄・セメントへ大きく変革を遂げる  
その後も、時代の流れを読み取り  
異なる業種を受け入れ多様性ある企業に  
それは刀を捨てて身を立てた  
武將と武士の覚悟のように  
常に、上を目指して変革精神を貫く  
創業以前からの「合」の旗印の下  
経営者と社員の隔てなく  
社員全員による企業を目指す  
力を合わせ、分かち合い、響き合う  
「合才の精神」で  
地域社会の活性化と  
人々のより良い生活環境構築のために進む  
世の平安のために

綿半ブランディング・ストーリー「しかくがつさい志革合才」

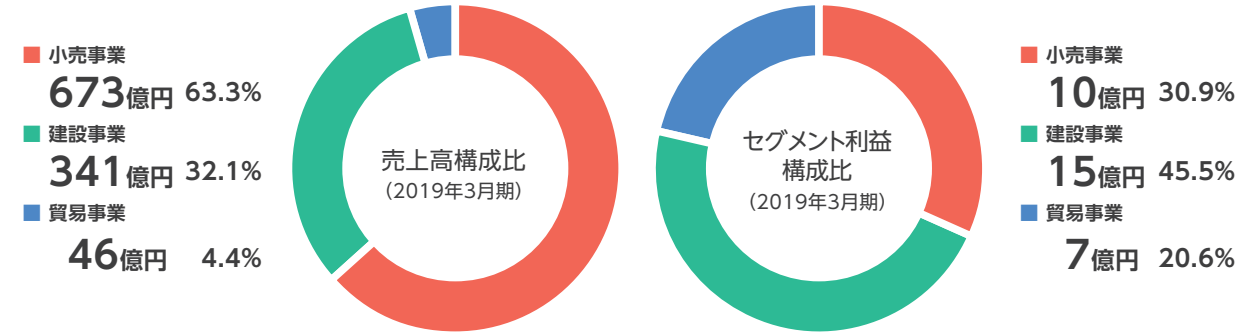
綿半

綿半グループの事業

綿半グループは1598年の創業以来、常に  
変革を続け業容を拡大してきました。  
現在は持株会社「綿半ホールディングス  
株式会社」を中核とし、グループ会社が  
それぞれの高い専門性を活かして、小売事業、  
建設事業、貿易事業を展開しています。



事業別構成比



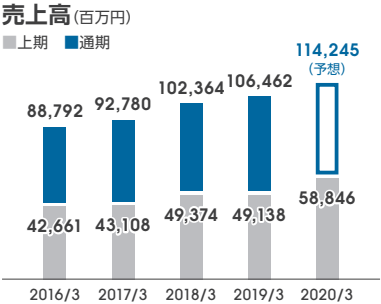


綿半グループ本社ビル「cotton1598」フリースペースにて

「合才の精神」のもと、  
多様な強みを活かし  
持続的な成長と発展を  
目指します

綿半ホールディングス 代表取締役社長  
野原 勇

| 決算のポイント        |                                             |                                           |
|----------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------|
|                | 売上高                                         | 営業利益／経常利益                                 |
| 2020/3<br>上期   | M&Aによる小売3社のグループ入り、工事進捗が順調に進捗し増収             | 建設コストの上昇があったものの、増税前の駆け込み需要や既存店の収益力向上により増益 |
| 2020/3<br>通期予想 | EDLP戦略のさらなる推進とグループ入りした小売3社の寄与、工事進捗が堅調に推移し増収 | EDLC戦略のさらなる追求と、工場自動化等の構造改革により増益           |

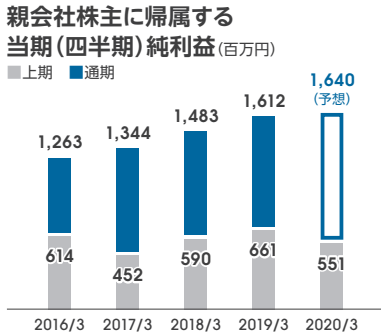
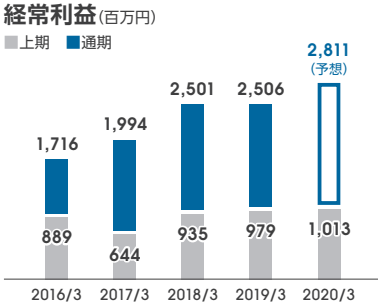
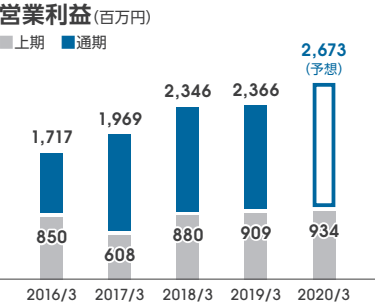


変革・成長の歴史と、変わらない創業の「志」

1598年に長野県飯田市で誕生した綿半は、創業以前の武士の時代から、地域を守り、発展させてきました。名が示す通り、創業当時は、「綿」の製造・販売を生業としていましたが、移り変わる時代とともに、鉄や金物、建築資材、家具、日用品と、取扱う品物も変化してきました。

しかし、当社には時を経ても決して変わらないものがあります。それは、「信頼に対して貢献をもって応える経営」をするという信念です。地域のより良いものを、地域のお客さまに届け、地域を発展させていく――。綿半には、創業者の武士の志が、今も脈々と流れているのです。取扱う品物や販売形態が変わっても、お客さまにより良い生活をお届けする精神は創業から全く変わりません。

幅広く手掛けている事業を「点」で見ると、わかりにくい会社だと思われるかもしれません。「合才の精神」を核に、より良いものを常に世の中へ流通していくことを志す企業なのだとご理解いただければ、歴史と事業が「線」で繋がり、当社があり続ける理由がおわかりになると思います。当社は、日本でも数少ない老舗企業として、この先の1000年を見据えて持続的な成長を目指します。



小売事業は、外部環境に左右されない  
堅実な戦略で好調に推移

当社では、外部環境に左右されない生活に必要な食品・日用品の割合を増やし、商品構成のバランスを変化させてきました。また、「一店舗一経営」をかけた、店舗ごとにお客さまのニーズを捉え、独自の販促や売場づくりを行ってきました。これらの結果、今夏の異常気象ともいえる気候変動にも堅実に対応できました。

この施策をさらに推進することで、下期の消費税増税に伴う影響も限定的だと考えています。

お客さまに寄り添うリアル店舗の取組み

これまで大多数の小売店が新聞の折込みチラシを活用してきました。しかし、新聞の購読率が低下していることや、特売期間のないEDLP(エブリデー・ロー・プライス)戦略を推進する当社にとっては、チラシの効果はさほど高くありません。チラシを削減する一方で、新たな取組みとして山梨でテレビCMを開始したり、各店舗でSNSの活用を始めています。お買物の際には当社の店舗を認知していただき、

社長メッセージ

お客さまの買物習慣に組入れてもらうことが目的です。現場の従業員からは効果が出始めているとの声もあがっており、今後の効果にも期待しています。

また、さらに高品質な商品を提供することで信頼関係をより強固なものにしたいと考えています。フレッシュマーケットの店舗で先駆けて導入した活魚が泳ぐいけすは大変好評で、他店舗にも展開する準備を進めています。港から直接仕入れた活魚を新鮮なまま運ぶための車両も調達し、産地直送を拡大することでリアル店舗ならではの価値を提供します。

建設事業は国際大会や大型物件で引き続き好調

建設事業は、来年東京で開催されるオリンピックや商業施設等の大型化なども受けて、引き続き好調な受注環境が続いています。今後はミャンマーに設立したCADセンターの体制を強化し、工場の自動化との相乗効果により、一層の納期短縮、コスト削減を目指していきます。

貿易事業は既存の高シェア商品と新商品の両輪で事業を拡大

貿易事業は、既存の取扱商品が安定的に伸びていることに加えて、新しい商材も寄与し、好調に推移しています。この貿易事業は、商品の取扱いのハードルが高ければ高いほど、他社の参入を許さず高いシェアを獲得することが可能な分野です。当社がこれまで培った経験を活かし、新しい商材を開拓しながら、事業を拡大していく方針です。

綿半三原商店とサイエンスホームが新たにグループ入り

綿半三原商店は、1874年に長野県安曇野市で製茶卸売業として創業しました。現在、お茶や菓子の製造・販売を行っており、県内に8店舗展開しています。綿半グループでは食品の内製化を進める計画もあり、三原商店が持つ製造のノウハウが活用できるのではと考えています。また、リアル店舗の存在価値向上の一環として店舗内にコミュニケーションスペースを設置する取組みにも、三原商店の



カフェ運営や接客ノウハウが活きてくるはずです。

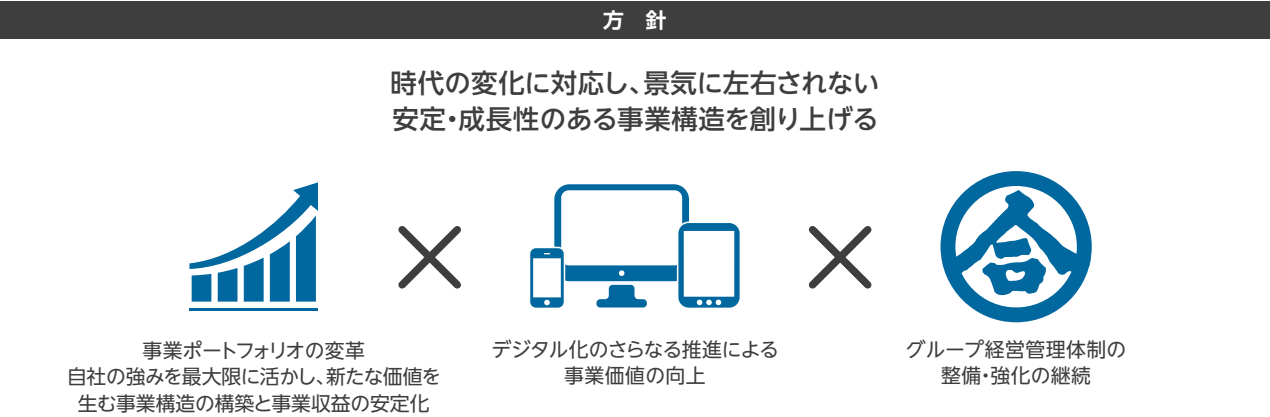
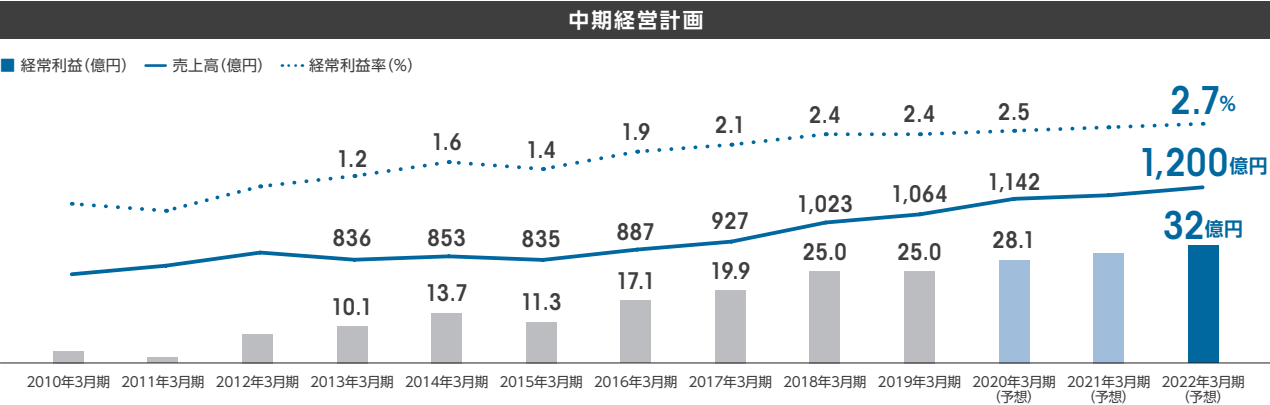
サイエンスホームは、2011年に創業した、「真壁づくり」の高品質な木造住宅のフランチャイズを展開する会社です。お子さまがいる若い世代から支持され、加盟店は北海道から沖縄まで全国に広がっています。地場産の木材を使っているため、自然と共生してきた綿半グループとの親和性は高く、より良いものを届けたいという理念も一致しています。今後は、アベルネットの通販ノウハウ、綿半ソリューションズが手掛けている建材、ホームセンターで

販売している資材などをリンクさせたネットワークを構築し、資材を全国に提供する仕組みづくりを進めていく方針です。いずれこのネットワークから、新たなビジネスが生まれてくることにも期待しています。

業績に連動した安定的な株主還元を目指す

当社は、上場後から毎年増配を続けてきました。今後も、安定的な配当を行っていきたいと考えています。そのために利益をしっかりと伸ばし、利益があがった時は積極的に投資も行っていく方針です。しかしながら、当社が目指すのは「景気に左右されない経営」です。

景気に左右されない独自の経営手法で一步一步着実に進んでいく所存ですので、株主の皆さまには今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

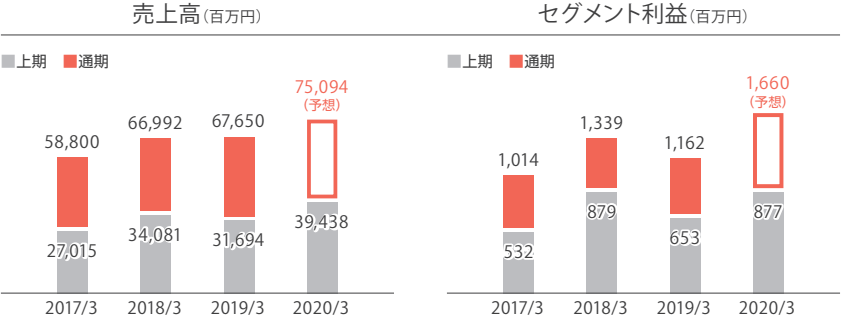


小売事業



当上期の概況

前期にグループ入りしたアベルネット及び当期にグループ入りした綿半三原商店・サイエンスホームのグループ入りや、消費税増税前の駆け込み需要により増収・増益となりました。



TOPICS

2019年4月 綿半三原商店がグループ入り

綿半三原商店は、1874年に長野県安曇野市で製茶卸売業として創業しました。現在ではお茶や菓子の製造、販売を行い、長野県内で8店舗展開しています。

店舗販売・インターネット販売ともに一番人気のとろける生大福は、2014年に楽天市場のスイーツ・お菓子ジャンルで栄えある月間MVP賞等を受賞したほか、2019年9月より長野県アンテナショップ「銀座NAGANO」でも販売を開始しました。

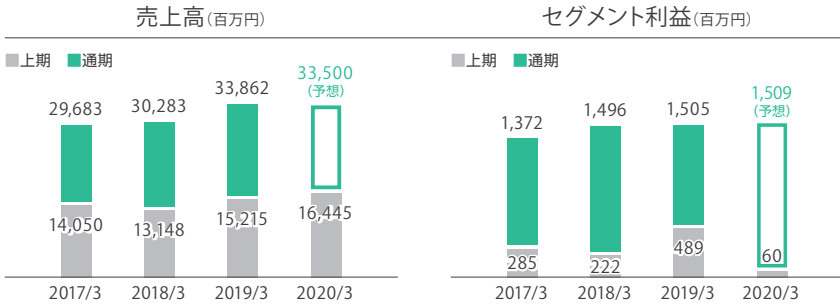


建設事業



当上期の概況

立体駐車場建設の工事が堅調に推移し増収となりました。  
利益面では鋼材価格の高騰や採算性の低い物件の増加に加え、自動溶接ロボットとCAD図面の連携に不備が生じたことにより減益となりました。



TOPICS

セントレア 立体駐車場建設工事竣工

セントレア (中部国際空港) に、国土交通大臣より認定を受けた4層5段 (4階建て) の立体駐車場を2棟建設しました。7月20日から一般供用を開始しています。

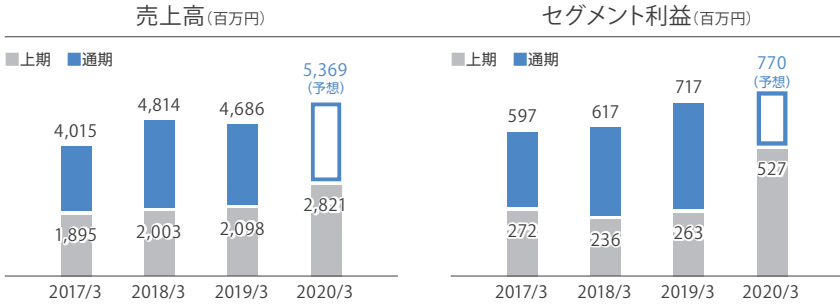


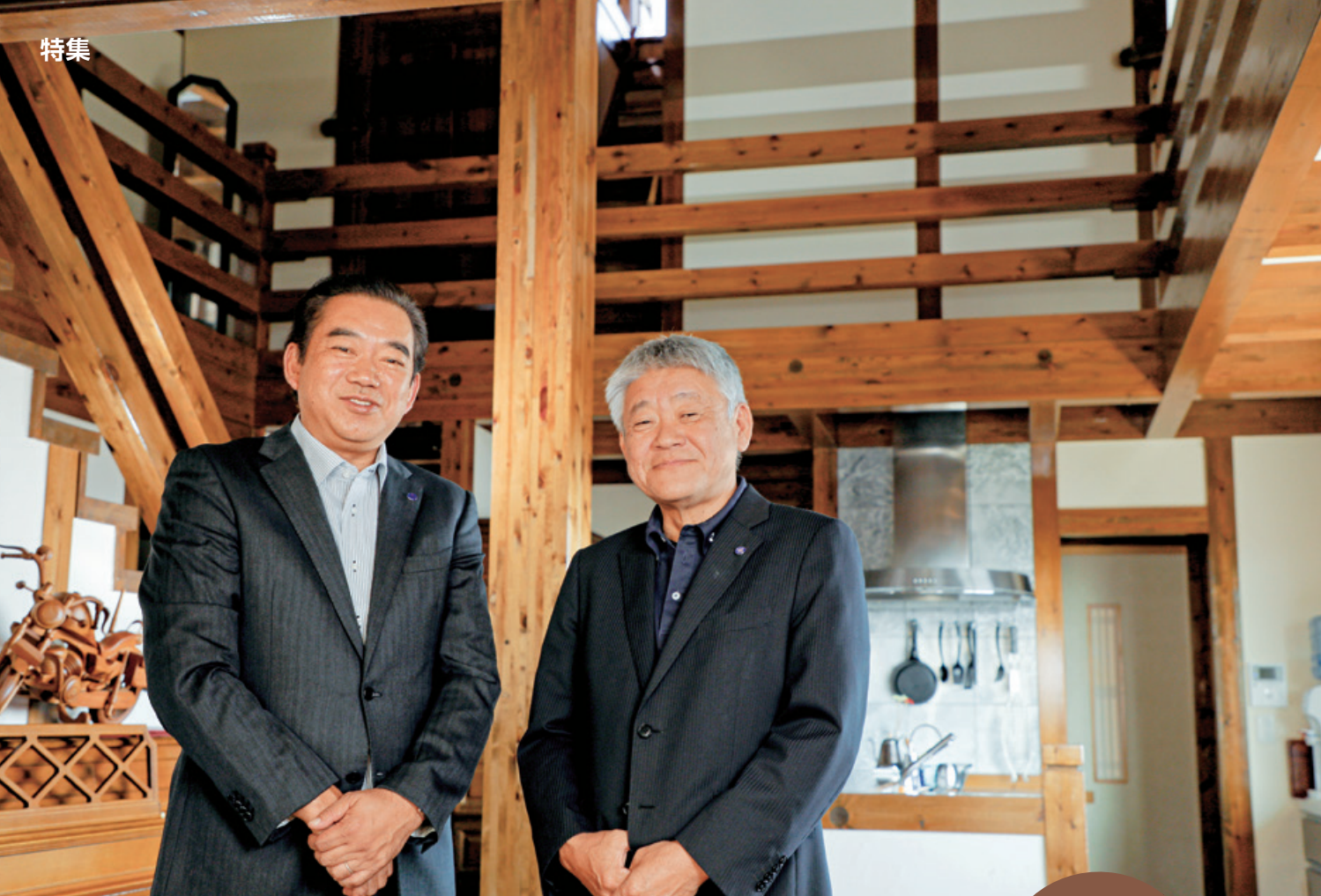
貿易事業



当上期の概況

一部利益率の高い商品の販売が前倒しとなり、増収・増益となりました。





サイエンスホームがグループ入り

## 日本の伝統工法と最新技術で、 高品質で低価格な 木造住宅を提供します

こだわりの真壁工法を実際に活用したサイエンスホーム本社（静岡県浜松市）にて

株式会社サイエンスホーム 代表取締役社長 **加納 文弘**（右）  
専務取締役 **大石 晃弘**（左）

**CLOSE  
UP**

小売事業

### 高温多湿な日本に最適<sup>しんかべ</sup>な真壁工法

**加納** 木を使った日本古来の家に住むべき——。そんな強い思いをもって、2011年にサイエンスホームを立上げました。日本人は昔から木とともに暮らしてきました。日本最古の木造建築として有名な法隆寺をはじめ歴史的な建造物はいずれも木造で、その技術が高く評価されています。私は二十代の頃から木の家にこだわり、伝統的な工法「真壁づくり」と最新の加工技術で、高品質かつ低価格な木造住宅を提供しています。

私は商品開発を専門に行い、営業のプロである専務の大石に営業や広報活動を一任しています。

**大石** 真壁工法は、家を支える柱がいわば“むき出し”になっている工法です。日本の気候は、夏は湿気が多く冬は乾燥しやすいため、湿気を吸ったり吐き出したりする木は、性質を知り尽くした先人たちによって生み出された日本にとって最適な建材なのです。そもそも、私たちは有史以前から森の中でずっと木とともに暮らしてきました。無垢の木に囲まれた家に住むということは、家に居ながらにして森林浴のようなリラックス効果が得られると言えます。木のストレスフリー効果の好影響は千葉大学の教授らの研究によって科学的にも証明されています。

### フランチャイズ加盟店は創業から8年で 北海道から沖縄まで全国に拡大

**加納** 多くのお客さまに私たちの考え方や価格に共感いただき、全国の工務店からも高い評価と称賛をいただいたので、同じ志をもった仲間を集めてフランチャイズ展開を

開始しました。創業して8年、現在では全国各地に127の加盟店を有するまでに成長してきました。加盟店は同じ志を持って

いる仲間なので、加盟金もロイヤリティもいただいていません。当社が造る木造住宅に本気でほれ込んで加盟してくれる方々が仲間になってくれるからこそ、サイエンスホームが強くなれているのだと思います。

おかげさまで、2014年・2015年に2年連続でグッドデザイン賞を受賞し、2019年8月度のSUUMO注文住宅ハウスメーカー・住宅メーカーのアクセスランキングでは全国6位になるまで高い支持を得ています。

### 綿半グループの信頼を強みに、 より多くの方に理想の住宅を提供します

**大石** これまで、高品質な住宅を低価格で提供することに尽力してきましたが、綿半グループの一員に加わったことで、資材の研究・開発や調達コストをより低下させることが期待できます。また、信頼性も向上し、当社が造る木造住宅の知名度も格段と上がるはずです。その結果、理想の家で幸せな家庭を育む人たちが増えることをとても嬉しく思っています。

**加納** 木は、自然の素材であり、一本一本性格や性質が違います。それが、家本来の持つ味わいであり、安らぎです。

これからも、住めばすむほど愛着の増す、家族の歴史が刻まれる家を造り上げていきますので、応援いただければ幸いです。



社会貢献活動

# 地域の未来を担う 子どもたちのために

綿半は、創業以前の武士の頃から民家臣とともに、力を合わせ、地域を守り、地域の発展のために邁進してきました。子どもたちの成長が地域の発展に繋がるという思いから、様々な支援を行っています。

今後も未来を担う子どもたちの教育支援に取り組むことで、地域とともに発展してまいります。

## わたしの「ふる里自慢」絵画コンクールの開催

2008年から長野県内に在住または長野県を訪れ滞在した小・中学生を対象に“ふる里自慢”をテーマにした絵画コンクールを毎年開催しています。

自分たちのふる里に関心を持ち、新たな視点から長野県の良さを発見する貴重な体験になるとの思いから始めたコンクールも、2019年で第12回を迎えることとなりました。



## AC長野パルセイロ キッズサッカースクールの開催

サッカーを通じたふれあいや、普及活動を支援するため、AC長野パルセイロと共同で小学生向けキッズサッカースクールを開催しました。約50名の子どもたちが集まり、楽しいひと時を過ごしました。

その他、松本山雅FCのこども夢スポンサーにも協賛しています。



## 寺子屋の開催

地域の小・中学生をあつめ、従業員が先生となって、子どもたちの勉強を見る寺子屋を開催しています。

勉強をしつつ、時にはハーバリウム(観賞用植物標本)などの手作り体験教室を開催するなど、店舗が憩いの場となっています。



## 子ども向けイベントの実施

お買物だけでなく子どもたちも楽しめるお店にしたいと、店舗独自のイベントを毎月開催しています。

寄せ植え教室やカブト虫つかみ取り、綿半公式キャラクターわたぴーとのじゃんけん大会など、毎回沢山の子どもたちにご参加いただいています。



## 小・中学校の社会科見学・職場体験受入れ

小売・流通について知識を高めるとともに、綿半をより深く知ってもらうため、積極的に地域の小・中学校の社会科見学・職場体験の受入れをしています。

社会科見学では厨房見学ツアーやセルフレジお買物体験を実施。職場体験では、品出しやラッピング練習、植物のお手入れなど、実際のお仕事を体験していただきます。



## 食品添加物の厳しい自社基準設定

食品添加物について国の基準よりも厳しい自社基準を設定しています。

基準をクリアしたこだわりの商品を販売することで、子どもたちに食の安心を提供しています。



# 株主優待制度のご案内

優待品の内容  
1～8の中から、1点お選びいただけます。

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主さまに長期的に保有していただくことを目的として、導入しております。

2020年3月期の株主優待に、「お茶元胡蝶庵」お茶・お菓子詰合せを追加いたしました。

※毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主さまが対象となります。  
※各種商品(米・味噌・ジュース・PB商品)については、12月下旬以降の発送を予定しております。

## ブルーカードポイント3倍

お申込み番号

1

ブルーカードポイント

3倍



綿半ホームエイド店舗でのお買物に対し、ポイント付与率が3倍になります。

対象期間 2020年1月1日～12月31日まで

※ブルーカードとは、ブルーアライアンス株式会社が運営する共通ポイントカードで、加盟店ならどこでも利用可能です。  
※ポイントアップキャンペーンとの併用・ECサイト等ではご利用できません。

## PB商品詰合せ (2,000円相当)

お申込み番号

2

NEW



### 「お茶元胡蝶庵」お茶・お菓子詰合せ

「お茶元胡蝶庵」こだわりの逸品を詰合せました。

#### 内容

- 胡蝶の夢(ティーバッグ2.5g×8)
- 南信州天龍紅茶(ティーバッグ2.0g×8)
- 葡萄の緑茶(ティーバッグ3.0g×6)
- クッキー(玉露)
- クッキー(ほうじ茶)
- うみたてマドレーヌ
- スティックケーキ(抹茶)2個

お申込み番号

3



### PBキッチン用品詰合せ

キッチン周りにおすすめのPB商品5点を詰合せました。

#### 内容

- セラミックコートIHフライパン22cm
- マイクロファイバーふきん 5枚組
- ナイロンネットスポンジ 6個入
- フリーザーバッグLサイズ 20枚入
- 調理用ホイル(25cm×5m)

※写真はイメージです。商品パッケージ等が変更になる可能性があります。

お申込み番号

4



### PBスキンケア用品詰合せ

グループで共同開発したオーガニックホホバオイルをふんだんに使用した石鹸と、全身に使用でき肌や髪に潤いを与えるホホバオイルとハンドタオルの詰合せです。

※商品パッケージは変更になる可能性があります。  
※ハンドタオルの色は一例です。

## 信州特産品 (2,000円相当)

お申込み番号

5



### 北信州みゆき米「幻の米」

5kg

飯山地方で生産された「幻の米」は、厳選された最上級特Aランクのお米です。ほどよい歯ごたえがあり、かめばかむほどほんのりとした甘みを感じられるのが特徴です。

お申込み番号

6



### 信州飯田贅沢味噌詰合せ

- 二年熟成味噌500g×2個
- 辛みそ120g×1個
- 焼肉のめのキーマカレー100g×1個

焼肉の街、飯田市からお届けする肉や野菜に相性抜群の辛みそ、南信州飯田の代表であるマトン肉を食べやすくミンチにしたキーマカレー、例年大好評の南信州の松川高原蔵でじっくり熟成させた二年熟成味噌の詰合せです。

お申込み番号

7



### 信州りんごジュース詰合せ

- サンふじ1,000ml×2本
- シナノスイート1,000ml×1本

信州の豊かな自然が育んだりんごをジュースにしてお届けします。昨年人気のサンふじと、シナノスイートを詰合せました。

※台風の影響により、一部商品が変更になりました。

## 社会貢献活動への寄付

お申込み番号

8



2,000円を当社指定の団体へ寄付いたします。

## TOPICS

綿半の発祥地！  
長野県飯田市って  
どんなところ？

リニア中央新幹線の中間駅が設置される飯田市は、長野県南部に位置する人口10万人の都市です。

のし袋などに使用される水引の生産量が全国の約70%を占める※1ほか、人口1万人当たりの焼肉店舗数が全国の市で最も多く※2、「日本一の焼肉の街」と呼ばれております。また、焼肉を食べながらロックを楽しむ「焼肉ロックフェス」も毎年開催されています。

※1 飯田水引協同組合より  
※2 2017年1月南信州畜産物ブランド推進協議会調べ

※株主優待の内容は、2019年11月20日時点のものとなっております。